



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東  
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白石 亙  
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 原田 恭子（TEL）06-6531-8211  
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月5日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,917	△19.9	286	△56.9	289	△62.5	139	△73.4
2024年3月期中間期	12,374	57.8	664	—	771	317.0	526	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 716百万円(△6.8%) 2024年3月期中間期 768百万円(57.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	20.03	—
2024年3月期中間期	75.44	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	25,414	13,213	51.0
2024年3月期	26,741	12,642	46.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 12,965百万円 2024年3月期 12,411百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2025年3月期	—	20.50			
2025年3月期(予想)			—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	△9.8	650	△48.0	660	△53.3	400	△56.9	57.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	7,210,000株	2024年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	228,967株	2024年3月期	228,967株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	6,981,033株	2024年3月期中間期	6,979,574株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、欧米における高インフレの鎮静化を背景に底堅い動きが見られたものの、中国景気の減速、ウクライナ、中東における紛争の長期化等の地政学的リスクの高まりにより、先行き不透明な状況で推移しております。

わが国経済も、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大により景気は緩やかな回復基調にある一方、為替相場の乱高下や国際紛争に伴うエネルギーや原材料価格の高止まり等により市場環境は不安定な状況が続いております。民間設備投資については一部に持ち直しの動きが見られるものの、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2023年10月～12月は12,207億円(前年同期比0.7%減)、2024年1月～3月は12,317億円(同1.6%減)、4月～6月は12,655億円(同2.2%増)、7月は3,984億円、8月は3,883億円と、4月～6月は一旦増加に転じたものの、7月以降は減少傾向となっております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当中間期における受注高は、国内外の自動車業界向けを中心とした射出成形関連の受注が低迷していることに加え、中国における電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の投資が2023年後半に一服し、調整局面が続いていることなどにより、前年同期比では10億7千6百万円減(同10.2%減)の94億8千2百万円となりました。これにより、受注残高は前年同期比26億4百万円減(同21.6%減)の94億4千4百万円となりました。また、売上高につきましても、国内外における電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の売上が減少したこと等により、前年同期比24億5千7百万円減(同19.9%減)の99億1千7百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に加え、大型案件の減少により売上総利益率が改善(24.7%→29.4%)したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前年同期比3億7千7百万円減(同56.9%減)の2億8千6百万円、経常利益は前年同期比4億8千2百万円減(同62.5%減)の2億8千9百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益2千2百万円を特別利益に計上するとともに、固定資産除売却損6百万円、会員権評価損1百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税1億6千万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比3億8千6百万円減(同73.4%減)の1億3千9百万円となりました。

日本におきましては、電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の売上が前年度後半からの受注低迷により減少し、売上高は前年同期比11億8千9百万円減(同14.9%減)の68億1千7百万円となりました。損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に加え、大型案件の減少により売上総利益率が改善(21.0%→25.9%)し、営業利益は前年同期比1千8百万円増(同4.2%増)の4億4千5百万円となりましたが、セグメント利益(経常利益)は為替差損の計上等により、前年同期比1億6千6百万円減(同25.1%減)の4億9千4百万円となりました。

東アジアにおきましても、電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の設備投資が調整局面に入ったこと及びスマホ・VR用レンズ関連の設備投資についても一服感が見られることから受注が低調に推移し、売上高は前年同期比13億7千6百万円減(同34.7%減)の25億8千6百万円となりました。損益面においては、売上総利益率は改善(25.1%→30.3%)したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加により、営業損失が8千3百万円(前年同期は2億5千9百万円の営業利益)となり、セグメント損失(経常損失)が5千2百万円(前年同期は2億1千万円の経常利益)となりました。

東南アジアにおきましては、自動車業界向けの受注が低調であったこと等により、売上高は前年同期比8百万円減(同0.9%減)の9億9千7百万円となりました。損益面では、売上総利益率が悪化(37.4%→34.1%)したことに加え、販売費及び一般管理費が増加し、営業損失が1千9百万円(前年同期は4千1百万円の営業利益)となり、セグメント損失(経常損失)が2千1百万円(前年同期は4千8百万円の経常利益)となりました。

北中米におきましては、自動車業界向けを中心に受注は堅調に推移しているものの、前年度の受注低迷により、売上高は前年同期比6千1百万円減(同31.1%減)の1億3千6百万円となりました。損益面では、売上総利益率が改善(31.6%→41.8%)し、販売費及び一般管理費も減少しましたが、売上高の減少による落ち込みが大きく、営業損失が5千2百万円(前年同期は5千3百万円の営業損失)、セグメント損失(経常損失)が5千1百万円(前年同期は9百万円の経常損失)となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等により16億2千2百万円減少し、184億3千1百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物が増加したこと等により2億9千5百万円増加し、69億8千2百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13億2千7百万円減少し、254億1千4百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等が減少したこと等により21億3千2百万円減少し、77億4百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が増加したこと等により2億3千3百万円増加し、44億9千6百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18億9千8百万円減少し、122億円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が増加したこと等により5億7千1百万円増加し、132億1千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中国景気の減速、主要国での選挙に伴う政策変更懸念、ウクライナ、中東における紛争の長期化に伴う地政学的リスクの高まりにより不透明感を強めております。

わが国経済も、資源価格の高止まりを背景に、前期に引き続き市場環境は不安定な状況となっております。また、射出成形機の受注についても弱含みで推移しており、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化、一体成形化(ギガキャスト)等の動きや、社会の変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応していくとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等を中期的に取り組んでまいります。また、地球レベルでの環境問題(脱炭素、使い捨てプラスチックの削減)に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治(コーポレートガバナンス)等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

なお、現時点におきましては、2024年5月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,134,040	6,424,534
受取手形、売掛金及び契約資産	8,753,691	7,660,113
商品及び製品	857,918	792,366
仕掛品	1,076,019	1,116,811
原材料及び貯蔵品	1,939,463	2,070,712
その他	325,329	407,662
貸倒引当金	△32,044	△40,759
流動資産合計	20,054,418	18,431,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,512,845	3,265,763
土地	1,608,254	1,680,932
その他(純額)	1,153,994	576,263
有形固定資産合計	5,275,094	5,522,959
無形固定資産		
その他	615,024	667,714
無形固定資産合計	615,024	667,714
投資その他の資産		
その他	800,532	795,660
貸倒引当金	△3,573	△3,573
投資その他の資産合計	796,958	792,087
固定資産合計	6,687,077	6,982,761
資産合計	26,741,496	25,414,201
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,375,267	2,075,793
短期借入金	3,906,724	3,601,456
未払法人税等	345,782	178,389
製品保証引当金	122,982	106,596
役員賞与引当金	52,336	-
その他	2,033,763	1,742,572
流動負債合計	9,836,855	7,704,807
固定負債		
長期借入金	2,990,296	3,146,568
役員株式給付引当金	29,100	29,100
退職給付に係る負債	1,038,988	1,120,884
その他	204,164	199,562
固定負債合計	4,262,549	4,496,114
負債合計	14,099,405	12,200,922

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	9,451,669	9,446,355
自己株式	△129,500	△129,500
株主資本合計	11,368,702	11,363,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,631	211,676
為替換算調整勘定	814,840	1,390,280
その他の包括利益累計額合計	1,042,472	1,601,956
非支配株主持分	230,915	247,933
純資産合計	12,642,091	13,213,279
負債純資産合計	26,741,496	25,414,201

## (2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,374,950	9,917,200
売上原価	9,312,906	7,000,213
売上総利益	3,062,043	2,916,986
販売費及び一般管理費	2,397,633	2,630,474
営業利益	664,410	286,511
営業外収益		
受取利息	7,014	9,792
受取配当金	6,223	9,218
為替差益	143,366	-
増値税還付金	-	34,610
その他	14,893	12,546
営業外収益合計	171,498	66,167
営業外費用		
支払利息	24,475	27,387
為替差損	-	21,897
資金調達費用	22,198	6,035
その他	17,706	8,319
営業外費用合計	64,379	63,641
経常利益	771,528	289,038
特別利益		
固定資産売却益	1,755	22,183
特別利益合計	1,755	22,183
特別損失		
固定資産除売却損	2,198	6,906
投資有価証券評価損	10,327	-
会員権評価損	-	1,032
特別損失合計	12,526	7,939
税金等調整前中間純利益	760,757	303,282
法人税、住民税及び事業税	230,353	160,323
法人税等調整額	3,544	△586
法人税等合計	233,897	159,736
中間純利益	526,859	143,546
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	526,519	139,861
非支配株主に帰属する中間純利益	339	3,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,484	△15,955
為替換算調整勘定	192,330	588,772
その他の包括利益合計	241,815	572,816
中間包括利益	768,675	716,362
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	752,579	699,345
非支配株主に係る中間包括利益	16,096	17,017



## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	中間連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	7,509,319	3,676,378	999,933	189,319	12,374,950	—	12,374,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	497,924	285,890	6,507	8,904	799,227	△799,227	—
計	8,007,243	3,962,269	1,006,440	198,224	13,174,177	△799,227	12,374,950
セグメント利益又は 損失(△)	660,918	210,272	48,101	△9,007	910,285	△138,756	771,528

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	910,285
セグメント間取引消去	△138,756
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	771,528

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	中間連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	6,496,268	2,301,327	992,527	127,077	9,917,200	—	9,917,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321,502	284,742	5,269	9,492	621,006	△621,006	—
計	6,817,770	2,586,069	997,797	136,569	10,538,207	△621,006	9,917,200
セグメント利益又は 損失(△)	494,911	△52,119	△21,443	△51,671	369,676	△80,638	289,038

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	369,676
セグメント間取引消去	△80,638
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	289,038

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	5,923,958	△18.5
東アジア	2,155,284	△26.9
東南アジア	226,593	9.8
合計	8,305,836	△20.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	6,066,243	△10.0	6,620,410	△25.7
東アジア	2,013,739	△31.8	1,953,321	△29.3
東南アジア	1,041,834	34.0	539,215	62.0
北中米	360,288	325.8	331,227	696.7
合計	9,482,106	△10.2	9,444,175	△21.6

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	6,496,268	△13.5
東アジア	2,301,327	△37.4
東南アジア	992,527	△0.7
北中米	127,077	△32.9
合計	9,917,200	△19.9

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。